

プロジェクト報告書

団体名 社会福祉法人 大阪児童福祉事業協会

自立援助ホーム「ホームそらまめ mitejima」

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

「ホームそらまめ mitejima」ホーム舎内の台所の補修工事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

ホームそらまめ mitejima では、ホーム舎内の老朽化が進み、特に台所においては老朽化したシンクタンクのひび割れ、パイプの腐食等、水まわりの劣化がひどく、児童の食事作りをする上で不衛生を招く等、食品管理や食品衛生面を考慮する上でも問題がある為、台所の改修工事を行います。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

当ホームの台所の調理道具や食品等を収納しているキッチン下の収納は、塗装も剥がれ、湿気やカビでカビ臭がひどい状態です。コンロ周りは10年間の油汚れ等がこびりつき、その他、シンクのひび割れやパイプの腐食などの老朽化が進むなど、劣化箇所が、多く見られます。こまめに毎日、掃除を行うのはもちろんのこと、さまざまな掃除用品で汚れの除去を試みましたが、老朽化による破損等には修復に限界があります。

そこで、台所内のガスコンロ一式、シンク、キャビネット一式(シンク下、コンロ下、調理台)、台所の改修工事を専門の施工業者に委託して実施しました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

当ホームでは「食は生きる活力につながる」との考えのもと子ども達の食生活を大切にしており、毎日、職員が愛情と時間をかけて食事作りをしている為、工事が食事作りに影響しないように施工業者と交渉し工事時間の調整を行いました。また入所する子どもの多くは不適切な養育環境で育ってきた為、調理をする保護者の姿を見たことがない場合が多く、食事作りをする職員の姿や調理過程を見ることで家庭的な安らぎを感じることができ、台所は職員と子ども達とのコミュニケーションの場となっています。そのため子どもたちが仕事に出ている日中の短時間に集中して工事をしてもらい、子ども達と職員との食を通じた大切な時間を確保できました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

当ホームは食育を大切にしており、その思いを実現する場である台所等の改修工事により、衛生面や安全面が確保でき、職員は今まで以上に充実した食事作りができるようになりました。そして栄養バランスはもちろんのことバラエティー豊かな食事を摂ることで子ども達は栄養面だけでなく情緒面においても満たされ、就労自立に向けて、より一層仕事に励むようになりました。又、きれいになった台所を子ども達も大変喜んでおり、自主的に職員の食事作りを手伝う子どもも増え、家庭的な雰囲気が増すとともににぎやかになりました。ご支援頂き本当にありがとうございました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

